

日本と国連
 ——多元的視点からの再考——
 (『国連研究』第13号)

目 次

序 II

I 特集テーマ「日本と国連
 ——多元的視点からの再考——」

第1部 特集論文

- 1 持続可能な開発の文化的側面
 ——国連システムにおけるその展開と日本の課題
西海真樹 23
- 2 国連中心主義—提唱から破綻へ河辺一郎 53
- 3 国際公務員のキャリア研究
 ——日本人志望者へのキャリアデザイン横山和子 79

第2部 東アジア3カ国の国連外交政策

- 4 UN Policy of South Korea: To Be or Not to Be?
Sung-Hack Kang 113
- 5 China's UN DiplomacyZhang Xiaoan 131
- 6 Japan's United Nations Diplomacy Today
Koji Tsuruoka 145

II 政策レビュー

- 7 平和構築分野における国際社会の関与と文民能力
 ——『ゲエノ報告書』の意義と課題敦賀和外 157

Ⅲ 独立論文

- 8 国連PKOの財政支出構造と政府・企業からの調達
 ……………坂根 徹 185
- 9 国連における「保護する責任」概念の展開
 —リビア危機への適用をめぐる— ……政所大輔 209

Ⅳ 書評

- 10 清水奈名子著『冷戦後の国連安全保障体制と文民の保護
 —多主体間主義による規範的秩序の模索—』
 ……………山田哲也 233
- 11 福島安紀子著『人間の安全保障—グローバル化する多様な脅威と政策フレームワーク—』 ……栗栖薫子 238
- 12 上村雄彦著『グローバル・タックスの可能性—持続可能な福祉社会のガバナンスをめざして—』
 ……………功刀達朗 243
- 13 柘山堯司編著『集団安全保障の本質』 ……小森雅子 250
- 14 大沼保昭著『文際的視点からみた国際法: 多極化・多文明化しつつある21世紀世界における通説的認識枠組みを問う』 ……竹内雅俊 256
- 15 トーマス G. ワイス、ラメシュ・タクール著『グローバル・ガバナンスと国連—未完成の旅—』 ……太田 宏 262

V 日本国際連合学会から

- 1 国連システム学術評議会 (ACUNS) 第24回年次会合に参加して ……庄司真理子 271
- 2 規約と役員名簿 277

VI 英文要約 281

編集後記297

執筆者一覧299